



ディーラーメッセージ

CITROËN札幌南

セルス
マネージャー **野村 優子** さん

新しく加わったDS4の4x4は、特に悪路に力を入れていて、シトロエンと言えば「ハイドロ」に代表されるように、こだわりを持ったお客様に支持されてきました。今回のDS4は、初めてのお客様にとっても、シトロエンに入りやすいクルマです。ウインカーの首節定やマッスルサージ機能の付いたシートは快適性。さらにBMWとの共同開発のエンジンはスムーズに回ってくれます。たくさんの方にこのクルマの魅力を知っていただきたいと思います。(写真右から野村さん、船越さん、富野さん)



■ステアリングを握る喜びに満たされる

「DS4 C-HR」のドライバーズシートに身を委ねると、まず開放感のあるフロントウィンドウが車内に明るさをもたらす。独創的かつ洗練されたメーター類やステアリング周りに、期待感が高まっていく。ダウン

さもあるだろう。前方・後方パナチーを認識し、車両と障害物との距離を検出する。ここまでではさほど珍しくないが、男性でも苦手な人が多い、あの縦列駐車に大きな力を発揮するシステムがある。標準装備の「パーキングスปีスセンサー」で、車両の前後のスペースを検知して、駐車が「可能」「困難」「不可能」の3段階のシミュレーション結果をディスプレイに表示。縦列駐車、ドック・キープ、イライラ感を緩和する大きな武器になる。全幅がクラウンよりもワイドな1810mmあるため、ありがたいシステムだ。

女性にとってもうれしいのは、駐車の手やすさもあるだろう。前方・後方パナチーを認識し、車両と障害物との距離を検出する。ここまでではさほど珍しくないが、男性でも苦手な人が多い、あの縦列駐車に大きな力を発揮するシステムがある。標準装備の「パーキングスปีスセンサー」で、車両の前後のスペースを検知して、駐車が「可能」「困難」「不可能」の3段階のシミュレーション結果をディスプレイに表示。縦列駐車、ドック・キープ、イライラ感を緩和する大きな武器になる。全幅がクラウンよりもワイドな1810mmあるため、ありがたいシステムだ。

「DS4 C-HR」のドライバーズシートに身を委ねると、まず開放感のあるフロントウィンドウが車内に明るさをもたらす。独創的かつ洗練されたメーター類やステアリング周りに、期待感が高まっていく。ダウン

サイレンダの主役は1.6ℓの排気量ながらも実に力強い。クセのないエンジン特性で、アクセルを強く踏めば加速も素早い。フランス車は昔から小粋な小型車(小排気量車)というイメージだったが、伝統を踏襲しつつも確実に革新的になっていると思う。そのフォルクスワーゲンではないデザインが施された隣の車線はドライバーから凝視されるほど注目度も高かった。今や見慣れたメルセデス、BMW、アウディのドイツ御三家よりも新鮮さがDS4にはある。もちろん、欧州のライバル車にはゴルフ、アウディA3、BMWシリーズなどがある。その中でユーザーにとって新たな選択肢が増えたことはいずれい

限りだ。

シトロエンは、C5などに搭載するガスとオイルによる電子制御サスペンション「ハイドロアクティブ」が大幅に改良された。ハイドロの別次元の乗り心地の良さは、世界的にも定評があり、シトロエン「ハイドロ」という結びつきにもなる。だが、今回の「DS4」をきめたDSシリーズには、ハイドロを搭載していない。しかし、足回りのしなり感、ハイドロ非搭載でも全く遜色のないレベルにセッティングされており、機構が簡単なバネ下にかかる荷重が小さいことも軽快なハンドリングに寄与していることだろう。

シトロエンはフランスのオランド大統領が「DS4」に愛着を持って大統領就任式に臨んだほど格調と伝統がある。

培われた伝統の技術力の誇りを持つ「方革的なクルマ作りへのこだわり。シトロエンの進化を続けるクルマへの情熱が「DS4」から感じられる。